

北京JAC全国研修セミナーin静岡

テーマ「第3次男女共同参画基本計画を実効あるものにするために
～男女共同参画推進の政策提言の力をつける～」



基本法が制定されて10年余。この間、政府及び自治体においては、男女共同参画社会の実現に向けて様々な取り組みがなされてきました。しかしながら、2009年国連の女性差別撤廃委員会の勧告に示されるように、制度面での進展は緩慢で、その遅れは否定できません。

このような状況の中、国の第3次男女共同参画基本計画を基に、「日常(暮らし)から政治を問う」等7つのテーマの分科会を開催し、共に学び、研鑽する中で、市民として、自治体等と協働で男女共同参画のまちづくりを推進するための政策提言の力をつけていくことを目的に実施するものです。また、「災害・復興とジェンダー」分科会の開催も注目です。

静岡県内はもちろん、全国各地からの多くの方の参加を呼びかけます。

とき

2011年10/8(土)・9(日)

ところ

静岡県男女共同参画センター“あざれあ”



1日目
10/8
(土)

◆受付開始 12:30

●分科会 13:30~17:00

- ①女性の経済的エンパワーメントと経済分野への参画機会の拡大
- ②私のライフコースと税と年金～「税と年金リテラシー」の力をつけるために
- ③日常(暮らし)から政治を問う
- ④働くことと生活の両立をはかるために
～地域の子育て政策～
- ⑤高齢者が安心して暮らせるまちづくりをめざして
- ⑥男女共同参画推進のための条件整備
- ⑦災害・復興とジェンダー

●交流会 18:00~20:00
静岡グランドホテル中島屋

●開会式 10:00~

基調提言

「なぜ、日本では
ジェンダー・ギャップ
解消が進まないのか
—基本計画にみる仕事と家庭—」

萩原久美子さん

(社団法人 生活経済政策研究所主任研究員)

●全体会 13:00~15:00

分科会報告

コメンテーター：萩原久美子さん

2日目
10/9
(日)

参加費 2日間2,000円・1日1,000円(学生は各1/2)・交流会費5,000円(どなたも)

託児 無料・先着20名

申込締切 9月12日(月) ※申込方法等、詳しくはあざれあホームページをご覧ください。

■主催 北京JAC(世界女性会議ロビイングネットワーク)・北京JAC全国研修セミナーin静岡実行委員会
あざれあ交流会議グループ代表団体 NPO法人静岡県男女共同参画センター交流会議

■後援 静岡県 静岡市

■分科会

C.: コメンテーター、Co.: コーディネーター

分科会：タイトル	趣 旨（内容）	問題提起者等
第1分科会 女性の経済的エンパワメントと経済分野への参画機会の拡大 ～働く場づくりと就業継続再就職支援～	働く女性の大きな課題である非正規労働・均等待遇の問題、またNPOなどによるソーシャルビジネスの創出、新しい働き方や働く場づくりについて実践報告を基に話し合いを深めます。	井出あゆみ(浜松男女共同参画推進協会理事長) 岸俊子(バーカリーカフェ・「風」経営) 奥田祐子(北京 JAC 中部/ワーキング・ウーマン) C.:居城舜子(女性労働問題研究会代表) C.:佐藤和枝(㈱ミズ・クリエイション代表取締役) Co.:佐藤成子(世界女性会議初任ワーク静岡理事)
第2分科会 私のライフコースと税と年金 ～「税と年金リテラシー」の力をつけるために～	専業主婦、シングルマザー、ひとり世帯など、ライフコースの選択で大きく変わる税制と年金制度リテラシー(読み解く力)を高めることが目的です。 税と年金を自分の人生と照らし合わせ、マップを作りながら生き方の選択ができる税制・年金のあり方を考える、楽しくわかりやすい参加型です。	大矢さよ子(社会保険労務士) 田嶋清子(株式会社レ・サンク代表) Co:船橋邦子(北京 JAC 共同代表)
第3分科会 日常(暮らし)から政治を問う	私たちの理想や活動を政策に反映させるには女性議員は少なすぎます。民主主義の名に相応しい男女平等の政治参画を拒むものは何か、それを乗り越えるための方策を考えます。	須田 和(尼崎市議) 横井美由紀(富士市議) 鈴木 恵(前浜松市議) 犬塚協太(静岡県立大学国際関係学部教授) C.:石田久仁子(北京 JAC 世話人) Co.:松本玲子(あざれあ交流会議理事)
第4分科会 働くことと生活の両立をはかるために～地域の子育て政策～	子どもたちがすこやかに成長する権利と働く両親のため、どのような政府・自治体の支援政策が必要とされるのでしょうか。また、その問題点は何でしょうか。地域での保育の現状を見つめながら考えます。	静岡市職員(「おひさま」待機児童保育園) 下位桂子(放課後児童館講師) C.:清水澄子(北京 JAC 共同代表) Co.:鈴木克義(常葉学園短期大学教授)
第5分科会 高齢者が安心して暮らせるまちづくりをめざして	地域の中で高齢者が安心して暮らせるまちは、子どもも障害を持つ人も認知症の人もすべての人が安心して暮らせるまち。そのまちづくりを可能にするために、市民として、自治体と協働しつつ何ができるかを考えましょう。	稲葉ゆりこ(たすけあい遠州代表理事) 鈴木明与(WAC 清水さわやかサービス理事長) 北京 JAC・新潟 C.:三隅佳子(北京 JAC 世話人) Co.:石田友子(富士市「2人3脚」代表)
第6分科会 男女共同参画推進のための条件整備	国の第3次男女共同参画基本計画において、推進体制の強化があげられています。女性センターが、社会状況や地域課題に対応し「男女共同参画社会の実現に向けた活動拠点」として、その役割をはたしているかを問い直します。	田端八重子(もりおか女性センター センター長) 氏家義男(クレオ大阪 元企画課長) 萩原綾子(静岡県男女共同参画課 課長) C.:橋本ヒロ子 (国連女性の地位委員会日本政府代表) Co.:松下光恵(男女共同参画フォーラムしずおか理事)
第7分科会 災害・復興とジェンダー	災害と女性の人権・男女共同参画の視点から災害とジェンダーの関係を考えます。災害時に脆弱性の高い人たちも視野に入れた、私たちにとっての避難所マニュアルや防災・復興計画などを、ワークショップを組み込みながら検討します。	宗片恵美子(NPO 法人イコールネット仙台代表理事) 藤原玲子(原発震災を防ぐ全国署名連絡会) 浅野幸子(早稲田大学非常勤講師) C.:池田恵子(静岡大学教育学部教授) Co.:ゆのまえ知子(北京 JAC 事務局長)

セミナー会場

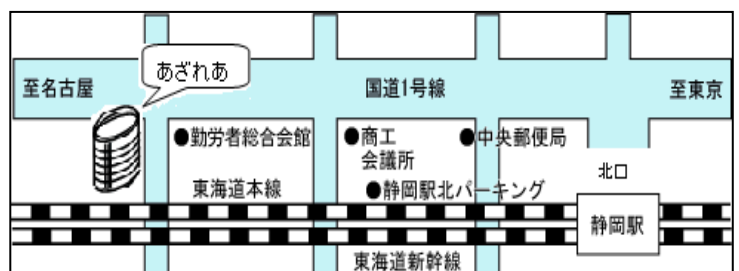
静岡県男女共同参画センター あざれあ

〒422-8023 静岡市駿河区馬淵 1-17-1

TEL: 054-250-8147 FAX: 054-251-5085

Eメール: beijing@azarea.pref.shizuoka.jp

ホームページは [あざれあ](#) [検索](#) で



J R静岡駅北口から国道1号線沿いに西へ徒歩9分(公共交通機関をご利用ください。)